

平成27年 造園業死亡災害の事例

各都道府県労働局発表データより作成

NO	都道府県	事故の型	起因物	災害発生状況
1	青森	高温・低温のものと接触	高温環境	事業場の資材置場において、朝から同僚と一緒に草刈り作業を行っていた被災者が、体調不良を訴え、午前中で作業を切り上げて帰宅した。その後、自宅において心肺停止状態で横たわっているのを発見された。(熱中症)
2	岩手	激突され	立木等	杉の木(胸高直径38cm、高さ15m)の伐倒方向を制御するために木材グラブプル機をつかみ装置を地上4.4mのところに添えながらチェーンソーで伐木したところ、切断部が暴れ、伐木に激突された。
3	福島	高温・低温のものと接触	高温環境	県道の除草作業において刈った草をトラックに積み込む作業をしていたとき、体調不良を訴えたため日陰で休息させていたが痙攣や嘔吐が認められたので、救急車で病院へ搬送した。(熱中症)
4	福島	高温・低温のものと接触	高温環境	同僚と2人で、刈払機を用いて除草作業を行っていたところ、刈払機を放置したまま、ほかの作業員にふらふらと近づき、大の字になって地面に横たわり、意識を失った。(熱中症)
5	茨城	墜落・転落	はしご等	植木の剪定作業中、脚立から墜落し、近くにあった鉄製かごに腹部等を強打して負傷し、その2週間後に死亡した。
6	茨城	飛来・落下	玉切材	雑木林で伐倒した玉切材(原木丸太)を、小型移動式クレーンの荷台へ積み込む作業中、後退した被災者が斜面に足を取られ、約1.7m下に転落した。その直後に並べていた玉切材も転がって落下し、被災者が下敷きとなり死亡した。
7	茨城	墜落・転落	立木等	神社敷地内にて、伐採木の枝(高さ1.3m)に登り、チェーンソーで枝を切っていたところ、バランスを崩して墜落し、翌日、搬送先の病院で死亡した。
8	茨城	転倒	一般動力機械	自走式草刈機(立ち乗り型)を運転して河川の堤防斜面の除草作業中、草刈機が転倒してその下敷きになった。
9	茨城	墜落・転落	はしご等	立木の剪定中、高さ約1.7mの三脚脚立から地上に墜落し、7日後に死亡した。
10	群馬	激突され	小型移動式クレーン	庭に置いた庭石(重量130kg、90×70厚さ17cm)の位置を変更するため、小型移動式クレーン(吊上げ荷重0.995t)を使用して庭石を吊上げたところ横転し、近くで作業を見ていた被災者の頭・背中にクレーンのジブの先端が激突したものの。(アウトリガー張出しなし)
11	埼玉	激突され	立木等	民有地での伐倒作業現場において、被災者がチェーンソーを使用して伐倒した木が途中で折れ、折れた伐倒木が被災者の胸部に激突した。
12	埼玉	はさまれ、巻き込まれ	一般動力機械	河川の堤防等の維持修繕等を行う工事現場において、自走式草刈機に搭乗して、法面の草刈り作業を行っていた被災者が、自走式草刈機の機体前方にある草刈り部に巻き込まれて死亡した。
13	東京	転倒	建築物・構造物	勾配約40度の傾斜地の草刈りを終え、集合場所へ戻る際、何らかの原因により、傾斜地から転落した。被災者が最後に目撃されたのは、被災者が転落していた箇所から高さ約5メートル、勾配42.5度の傾斜地を降りているところであった。ロリップの設備等の墜落防止措置は講じられていなかった。
14	東京	墜落・転落	高所作業車	樹高約17mのクスノキの剪定作業中、高所作業車の作業床が届かない頂部付近を剪定するため、当該樹木の高さ約12mの箇所に作業床を横付けして樹木に乗り移り剪定作業を行った。当該作業終了後、樹木から作業床に戻る際、高所作業車の作業床に足を掛け乗り移ったところ高所作業車の作業床が大きく揺れ、その反動で11.6m下の歩道上に墜落し死亡した。

15	東京	墜落・転落	立木等	被災者は植木の剪定作業中、高さ約4.8m付近の枝の上から地面に墜落した。
16	神奈川	墜落・転落	立木等	シイガシの木を剪定中、足場にしていた枝が突然折れ、約6m墜落した。安全帯を着用していたが、使用していなかった。
17	神奈川	墜落・転落	立木等	マンションの敷地内の立木の剪定作業中に乗っていた枝が折れ、高さ約6mから墜落した。
18	福井	転倒	剪定用具	庭木の剪定作業中、高さ60cmの石段上にある枯れ木を引き抜いたところ、反動で後方に倒れ、刃先が上を向いた状態で立てかけていた剪定バサミの先が被災者の腹部に刺さった。
19	静岡	激突され	立木等	公園内の立木の伐木作業において、事業主がチェーンソー作業、被災者がチルホールで作業し、事業主がチェーンソーで受口と追口を作り被災者に合図し、被災者がチルホールで引いて木が倒れ始めた際に、被災者が伐倒方向に退避したため木に激突され胸などを強く打ち死亡した。
20	京都	激突され	立木等	傾斜地で2名で立木を伐倒作業中、伐倒した立木が枯損木に接触し、同枯損木が倒れた際にその幹が四つに割れ、枯損木の一部が被災者の頭部を直撃した。
21	兵庫	墜落・転落	立木等	枝を足場にして剪定作業を行っていたところ、足場にしていた枝が切り落とした枝に当たって折れ、胴と枝に結んでいたロープも墜落時に解けてしまい、約12m下の法面に墜落した。
22	兵庫	交通事故 (道路)	自転車	民家庭先の道路上にて脚立上で剪定作業中、通行中の自転車が脚立にぶつかり脚立ごと転倒し、入院5日後に死亡した。
23	岡山	激突され	立木等	工場敷地内樹木等剪定作業において、胸高直径27cmの不要木をチェーンソーにて伐倒中、木が割け上がり、落下した樹幹の下敷きになった。
24	長崎	機械の転倒	掘削用機械	宅地の石垣積み作業において、ドラグショベルで石を吊り設置作業中にドラグショベルが転倒し、3.4m下の道路へ転落し、死亡した。
25	大分	激突され	立木等	電線に近接する木の伐採作業を行っていたところ、伐倒した木の下敷きになった。